



WAKON

～和魂～



『短調』はなぜ暗いのか、
『沖縄っぽい音楽』とは何か



『玄武洞の柱状節理について』



『地域による自動車メーカー割合の差』



『テンセグリティを用いた
免震構造』



『食品廃棄物を原料とする
生分解性プラスチックの作成』



お越しいただいた但馬地域のALT、
SSHの運営指導委員会の先生方

としたいと思います。

昨年度から取り組んできた研究内容を英語でまとめ、英語で発表し、英語で質問に答えるというとても難易度の高い内容でしたが、自分達の研究成果を皆に伝えようと懸命に話す姿がみられました。和魂ホールに並んだ10枚のポスターの内容が充実していたのはもちろん、抑揚をつけたメリハリのある英語の表現など、聴衆に伝えようとする意欲がヒシヒシと伝わってきました。課題研究はこれでひと段落となりますが、これまでの発表の経験を次のステージで活かしてくれることを祈ります。

課題研究Ⅲ発表会 最後のポスターセッション

6/15(木)、課題研究Ⅲの発表会を実施しました。これは、理数科3年生が昨年度「課題研究」で取り組んだ内容を、同じく理数科2年生や但馬地域のALT、SSHの運営指導委員会の先生方を前に、英語でポスターセッションするもので

を活用しています。生物や化学の実験では、スピードに情報収集がきたり、リアルタイムで他の生徒と記録や発見を共有できたりと、効率的に授業が進められています。BYODの活用により、今後ますます生徒たちの学習活動が充実していく予感がします。



カタラーゼの反応を動画で撮影する様子
(生物実験)

BYOD(ビーワイオーディー)とは
「Bring Your Own Device」の略称で、個人が所有するパソコン・タブレット・スマホなどの端末を学校の授業などで使用することを指します。

本校ではICT、BYODに関わる環境整備運用に積極的に取り組んでいます。昨年度から学習指導部の主導により、ネット回線整備や教員対象のICT研修を重ね、本年度当初には新入生対象のBYODオリエンテーションを行いました。各教科でも、調べ学習や実験の記録、データ分析などに活用し、生徒たちは慣れた様子で端末

BYOD、展開中!



教職員対象心肺蘇生法・AED講習

本校の教職員を対象に、心肺蘇生法・AED講習会が行われました。例年定期的に全職員を対象に実施していますが、今回は若手教員、運動部顧問を中心に人数制限をしたうえでの実施となりました。豊岡消防署職員の方に講習と実技指導をして頂き、心肺蘇生法、AEDの使用方法について学びました。「心肺停止の状態では通報され、救急車で運ばれてくる患者の救命率は低い。だからこそ、皆さんが正しい知識と行動をもって命を繋いでもらいたい。」と仰っていました。